

玉川上水から昭和記念公園へ

撮影；川鍋正義、編集；川鍋正義／岡田正嗣、印刷；伊澤克夫

4月6日の当日、今日は第1回オリンピックが開催された日だ。

曇り空ではあったが、集合場所の東大和市駅に行ってみると、集合時間の20分前にはもう、伊澤さんや伊西さんや石原さん、女性の尾又さんや竹内さんが来ており、談笑している。やがて若林さんが合流して、参加者名簿にサイン及び会費500円を集金した。

大貫さんと郡さんは昭和記念公園で合流することにしており、10:00の定刻に、いざ出発！

今日は曇り空ではあるが、風も無く穏やかな天気だ。

駅から野火止用水の散策路を歩き始めると、沿道の木々は芽吹だしており、満開の桜も次々に現れ、快適に散策が出来る。

コース・タイム

東大和市駅(ト)	→	玉川上水駅(ト)	→	宮の橋	→	阿豆佐味天神	→	ミノーレ	→
10:00		10:25	10:30	10:55	11:05	11:15		11:25	11:40
昭和記念公園(砂川口)	→	みんなの広場(休憩)	→	溪流広場	→				
		11:50		12:20	13:20			13:25	13:35
残堀川	→	→	→	西立川口(出口)	→	JR西立川駅(解散)			
14:00	14:20		14:30			14:40			

東大和市駅前で集合の皆様





千手小橋



宮の橋





阿豆佐味天神社







「みんなの原っぱで昼食」



参加者全員の集合写真





チュリップ畑





残堀川端の桜



玉川上水から昭和記念公園へ

当初予定していたウォーキングの日は、3月29日であったが、当日は朝から雨が激しく降り、風も強く吹いて最悪の天気であった。

その前日に荒天の予報が出ていたので、29日のウォーキングは中止することにした。

今年は2月はじめは暖かい陽気の日が続いたので桜の開花は早いと予想していたが、2月後半から3月に寒い日が続いたので、桜の開花は大幅に遅れている。そこで4月6日に延期して実施することにして、参加が予想される人に可能な限り連絡した。

(3月27日の昭和記念公園の状況は、ソメイヨシノは未だ硬い蕾で全く咲いていなかったが、「陽光」桜や、しだれ桜が咲いておりました。ユキヤナギや菜の花やミモザなどは見頃でした。)

集合

さて、4月6日の当日、今日は第1回オリンピックが開催された日だ。

曇り空ではあったが、集合場所の東大和市駅に行ってみると、集合時間の20分前にはもう、伊澤さんや伊西さんや石原さん、女性の尾又さんや竹内さんが来ており、談笑している。

やがて若林さんが合流して、参加者名簿にサインして、会費500円を集金した。

出発

大貫さんと郡さんは昭和記念公園で合流することにしており、10:00の定刻に、いざ出発!

今日は曇り空ではあるが、風も無く穏やかな天気だ。

駅から野火止用水の散策路を歩き始めると、沿道の木々は芽吹だしており、満開の桜も次々に現れ、快適に散策が出来る。

歩き始めは、各自の歩行スピードがまちまちで、おしゃべりに夢中になっているといくつかのグループに分かれてしまい、たちまち離ればなれになってしまった。

そこで玉川上水駅で一休みして、再集合して歩行スピードを調整しながら、玉川上水の土手の左岸の遊歩道を歩いた。

この遊歩道からは、芽吹き始めた木々の中を流れる玉川上水を眺めながらの歩行で、とても気持ちが良い。

散策路の途中の千手小橋からは、玉川上水の右岸の土手の遊歩道を歩くと、濃いピンクの桃の花なども咲いている。

南側には広大な畑もあり、タマネギ畑なども眺められる。

やがて、玉川上水にかかる「宮の橋」に出る。(10:55) この橋は阿豆佐味天神

の裏手にあるので、この名称が付けられた橋だ。
宮の橋からは南に向かい、コメディアンの萩本欽一さんのお兄さんの家もある住宅の間を通り過ぎると、大きな木々に囲まれた阿豆佐味天神に到着した。(11:05)

阿豆佐味天神社

阿豆佐味天神社の本殿に参拝した後、本殿の右側にある社に参拝する。この社には「蚕影神社」(こかげじんじゃ)が祀られている。
蚕影神社は蚕をネズミの害から守る神様で、猫が守り神になっている。
立川に在住のジャズピアニストの「山下洋輔」さん(山下さんは、「たちかわ交流大使」にもなっており、阿豆佐味天神社の神楽殿でジャズピアノコンサートを開催したこともある)の命名で「猫返し神社」と言われている。
かって、山下洋介さんの飼い猫が行方不明になってしまったので、この神社にお願いをしたところ、無事に猫が帰ってきたのだそう。
山下さんがそのことをエッセイに書いたので、全国的に有名になった。
その神社の前には、狛犬の代わりに猫(狛猫?)が安置されている。
絵馬架けには、行方不明の猫が早く帰ってくるようにとか、猫が元気で長生きしてほしいなどと書かれた「猫の絵馬」が極めて沢山掲げられている。
この阿豆佐味天神社の宮司は、我々の仲間の三澤さんの同級生だが、残念ながら今日は三澤さんは欠席だ。

ミノーレ

阿豆佐味天神社からは、五日市街道を横断して狭い路地を通り抜けると、視野が開けて、自衛隊の基地の北側に出る。
ここにはJAが経営して地元の野菜などを販売している「ミノーレ」があるので、おトイレ休憩をする。
東大和市駅からズーと立ったままであったので、ミノーレの店先のベンチで暫し休憩だ。(11:25)

昭和記念公園；砂川口

ミノーレからは5分ほどで昭和記念公園の砂川口に到着した。
入園料は、我々シニアは210円だが、券売機が少々頑固者で、発券にかなり手間取ってしまった。
この入園口で、近くにお住まいの郡さんが合流して、参加者は合計10名となった。
横浜から参加の大貫さんは、砂川口とは反対側の西立川口から入場しているようだ。

砂川口から直ぐ先には「こもれびの池」が広がっている。ここには池があり、その岸边には柳が芽吹いており、大きなピンクのしだれ桜や、真っ白いユキヤナギや赤いボケなどが咲いており、素晴らしい眺めで、心も癒やされるようだ。
その先の「花の丘」は、去年はポピーが咲いていたが、今年はネモヒラが一面に

植えられており、ポツポツと青い花が咲き始めており、5月ころには見頃になりそうだ。

みんなの原っぱ(昼食)

「こもれびの里」を左手に見て、もう歩き疲れた頃、「みんなの原っぱ」に到着した。目の前に真っ黄色な菜の花畑が広がり、菜の花の香りが強烈に漂ってくる。

菜の花畑の向こうには、大きな桜の木々があり、もう満開状態になっており、すごい迫力だ。

この原っぱの入口で、大貫さんと合流して、参加者は総勢11名となった。満開の桜の大木が林立する「桜の園」に入り、昼食の場所を探す。

「桜の里」や「みんなの原っぱ」の一带は、お花見客で溢れかえっている。特に満開の桜の近くは空いたところがないので、桜の木々の間の空いたところに、車座になって座り込むことにした。

我々の仲間は80歳を過ぎているので、足腰が弱ってきているためか、座り込むのも一苦勞で、手を突いて「よっこらせっと」と、やっとの思いだ。今日は、もう8000歩も歩いたので、お腹はペコペコであるので、直ぐにオニギリなどをパクつく。

女性陣からは、お菓子などの差し入れをいただき、満開の桜の花に囲まれて、談笑は尽きない。

近くの桜の木の下では、ウエディングドレスなどの花嫁衣装を着た人や、奇抜なアニメキャラクターなどの衣装を着た人達を、専属のカメラマンが撮影しているのが目に付く。

我々の仲間も、そんなキャラクターの撮影しているところにスマホを向けていたら咎められてしまった。

話は尽きないが、座り込んだまま1時間もおしゃべりを楽しんだので、そろそろ再出発することにした。

長いこと座り込んでいたために、立ち上がるのも一苦勞で、手を突いて四つん這いになって、「よっこらせっと」と、やっどこさ立ち上がる。

ここで全員の集合写真を撮る。

チューリップ畑

花見客で埋まっている「みんなの原っぱ」を、座っている人達をよけながら歩き、右に曲がると、一面にチューリップ畑の景色が飛び込んできた。

チューリップも一斉に満開になったばかりのようで、鮮やかな色彩の幾何学模様に植えられており、素晴らしい。

特に、せせらぎの流れと川面に写った姿や、岸辺のピンクの桜などとのコラボレーションが見事だ。

そんな幾何学模様のチューリップの中をゆっくり散策して、「溪流広場」の池の畔に出ると、池の水面とそこに映った色鮮やかな花々が素晴らしい眺めであった。

チューリップ畑の中の細い散策路を、人をよけながら歩いていたので、またまた歩き疲れてしまったので、チューリップ畑の脇の休憩所に入り、椅子の座り込んで一休みだ。

残堀川端の桜

一息ついたところで、残堀川に沿った散策路に入る。
残堀川に沿った遊歩道を進み、「さくら橋」に出ると、橋の上からは、その名の通り満開の桜の素晴らしい景色が広がった。
川岸に植えられた桜並木は、「陽光」と言う名称の桜で、濃いピンクの花を満開にしており、レンギョウの黄色い花などと美しい花模様を描いており、一幅の絵巻のようだ。
そんな濃いピンクの桜並木の下を散策していると、左手には満開のソメイヨシノの大木が林立している「旧桜の園」が広がっている。
その旧桜の園を横切って丘に登ると、「ふれあい広場」が広がっており、立川口正門の噴水も見える。
「水鳥の池」に向かう大きな道路の、残堀川にかかる橋の上から下を見ると、満開のソメイヨシノと農ピンクの紅葉桜の花模様が見下ろせて素晴らしい眺めだ。
「水鳥の池」には、ボートやスワン型のボートなどが沢山浮かんでいる。道端には、黒い花の珍しいクリスマスローズの花壇もあった。
水鳥の池から坂道を上り、西立川口の出口に出た。(14:30)
そこから目の前の、JR青梅線の西立川駅に行き、無事に全員完歩で解散とした。

コース・タイム

東大和市駅(ト)	→	玉川上水駅(ト)	→	→	宮の橋	→	→	阿豆佐味天神	→	→	ミノーレ	→
10:00		10:25	10:30		10:55			11:05	11:15		11:25	11:40
昭和記念公園(砂川口) →												
→												
みんなの広場(休憩) →												
→												
溪流広場 →												
→												
残堀川 →												
→												
→												
→												
西立川口(出口) →												
→												
JR西立川駅(解散)												
14:00	14:20		14:30								14:40	

東大和中学校
「34歩く会」への誘い

2024年2月

中学同窓会の皆様のご希望で発足致しました「34歩く会」は、毎年、春と秋に実施して24回を数えました。

しかしながら、コロナ禍のために4年前に中断してしまいました。昨年11月に開催いたしました中学同窓会の席で、「34歩く会」の再開を希望する旨のご意見が多数ございました。

そこで、コロナ禍も下火になってまいりましたので、関係者で相談の結果、「34歩く会」を再開することにいたしました。

皆様の健康維持のためにも、また旧交を温めて気分をリフレッシュするためにも、是非ご参加くださればと思います。

今回の歩行コースは、東大和市駅から玉川上水に沿って歩き、阿豆佐味天神を経て昭和記念公園へ行きます。

昭和記念公園では、種々の春の花が咲いており、桜やチューリップなど見所が満載です。花に囲まれ、花の中でお弁当をいただきましょう！

発起人

岡田、伊澤、若林、川鍋

第25回 34歩く会

令和6年3月29日(金)



花の昭和記念公園

玉川上水から桜・チューリップの昭和記念公園へ

3年ほどお休みしていましたが「34歩く会」の再開です。いろいろな種類の桜が咲き、色とりどりのチューリップなどが咲く、百花繚乱の昭和記念公園を散策しましょう！

今回もまた「34歩く会」でおなじみの玉川上水を、東大和市駅から西に向かって歩きます。玉川上水に沿った遊歩道を歩き、玉川上水駅前を通り、宮の橋まで行き、そこから猫返し神社で有名な阿豆佐味天神を經由して、昭和記念公園の「砂川口」にでます。

ここで入場券を購入して公園に入りますが、我々はシルバー割引で入場券は210円です。

公園に入ってから桜の花と緑に囲まれた遊歩道を進み、「花の丘」に登り、ここで昼食としましょう。丘の上からはスカイツリーも見えますよ。

昼食後は「こもれびの里」に行き、昔懐かしい古民家に寄り、さらに「日本庭園」を散策しましょう。

日本庭園からは「みんなの広場」に出て、沢山の桜の木の下で休憩としましょう。

その先の「溪流広場」の近くには、色とりどりのチューリップが綺麗な幾何学模様になって咲いています。また、直ぐ近くの「みんなの広場」にはポピーが一面に咲いています。チューリップやポピーの中を歩きましょう！

そこからは残堀川沿いに散策して、鮮やかなピンク色の桜「陽光桜」の並木道を歩きましょう。

残堀川からは、JR西立川駅に出て、そこで解散といたします。

なお、途中で疲れた方は、パークトレインに乗車したり、レンタサイクルで園内を散策されても良いと思います。参加者のお疲れ具合によっては、コースの変更も考えます。

また、さらに公園内をもっと散策したい方は、どうぞご自由に！

1. 開催日： 令和6年3月29日(金) 10時集合

2. 集合場所： 東大和市駅

3. 歩行コース： (ト)はトイレ (昭和記念公園内には各所にトイレがあります)

東大和市駅(ト)→玉川上水駅(ト)→宮の橋→阿豆佐味天神→ミノレ→昭和記念公園(砂川口)

10:00 10:30 10:50 11:00 11:15

→花の丘(昼食)→こもれびの里→日本庭園→みんなの広場(休憩)→溪流広場→残堀川→

11:30 12:00 12:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00

→JR西立川駅(解散)

16:30

